

教育目的

1. 建学の精神であるキリスト教と高い倫理観、職業に対する使命感に基づき、愛をもって子どもや人々に奉仕できる人材を育成する。
2. 社会人としての教養と対人関係能力に基づき地域の人々と協働し、他の学生と協力して物事を成し遂げることができる人材を育成する。
3. 保育学・教育学・福祉学の基礎知識と学問的探求方法の理解に基づき、乳幼児に関する知識と保育方法理論を理解して、変化する保育ニーズの中で自己の保育を改善することができる人材を育成する。
4. 一人ひとりの子どもの心に寄り添い、保育を構想してクラス集団を指導し評価することができる保育実践力を備えた人材を育成する

卒業要件

幼児教育学科を卒業するためには、2年以上在学し、次の「教養基礎科目」と「専門教育科目」について、それぞれ卒業必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。

1. 教養基礎科目	〔13単位以上〕
2. 専門教育科目	〔49単位以上〕
計	〔62単位以上〕

なお、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得するためには、上記の卒業要件をみたすとともに、p.44以降に記載の教育職員免許法及び児童福祉法施行規則による、諸条件をみたさなければならない。

社会福祉主事任用資格について

社会福祉法第19条に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目について必要な科目を修得した者は社会福祉主事任用資格が認められる（p.48参照）。

ディプロマ・ポリシー

本学の建学の精神・本学科の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、以下の資質を養い、所定の単位を修得した場合は、卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。

1. 自己を確立し、社会に貢献する意欲をもつ。
2. 職業的倫理観を基礎として、乳幼児や人に対して愛をもって関わるができる。
3. 乳幼児の成長を支援するために必要な幼児教育、保育、福祉の専門的知識と技能をもち実践できる。

カリキュラム・ポリシー

【教養基礎科目】

本学の建学の精神を学ぶ「聖書と現代人」を開講とし、広く人間と社会に関する教養を学びます。豊かな人間性を培うため交流共感の場を学外に求めて、ゼミナール活動等で地域社会への貢献としてさまざまな活動への参加も積極的に推奨しています。

【専門教育科目】

学科の教育目的を達成するように、社会貢献できる人材育成と保育者養成を目指して教育課程を編成しています。幼稚園教諭二種免許状・保育士資格・社会福祉主事任用資格を取得できます。自立する姿勢を身につけ、自分で考え、判断し、行動する保育者を目指し、2年間で段階的に成長できるよう理論科目、実践科目を構成しています。

さまざまな教育活動を通して、学生が主体的に学びのテーマを選び取り深化させるため、地域社会に関わる中で学び貢献します。また、教職・保育士養成に係る補完的教育や対策講座なども開講しています。

＝幼児音楽プログラム＝

豊かな音楽観をもち、幼児教育に音楽を生かすことのできる創造性のある人材を育成します。アンサンブル（合唱、合奏）などにも重点をおき、音楽を通じた心の交流によって人間としての成長を目指します。

＝国際保育プログラム＝

国際的な視野をもち、グローバル時代の保育者にふさわしい人材の育成を目指します。世界の多様な保育方法に触れるとともに、多文化保育に求められる英語力の強化にも努めます。

アドミッション・ポリシー

- ・ 本学の教育目的を理解し、自分の夢や目標を明確に持ち、それに向かって努力する意思がある人
- ・ 愛をもって子どもに関わる意志を持ち続ける人
- ・ 子どもや周りの人に明るく積極的に関わり、コミュニケーション能力を身につけようと意欲にあふれる人
- ・ 高等学校で履修した基礎学力を身につけた人
- ・ 心身の健康管理に努め、実践から意欲的に学ぼうとする人

幼稚園教諭二種免許状を得るための単位修得方法

幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則により、短期大学士の学位を有し、定められた科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目、教科及び教職に関する科目）から規定の単位を修得しなければならない。

免許状の種類	所要資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数	
			教科及び教職に関する科目	特別支援教育に関する科目
幼稚園教諭	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	31	

（教育職員免許法）

第66条の6に定める科目	日本国憲法二単位、体育二単位、外国語コミュニケーション二単位及び情報機器の操作二単位
--------------	--

（教育職員免許法施行規則）

本学では、下表のように定められた科目に対応する授業科目を開設しているが、最低単位数以上の、必修単位数を設定している（履修指針表参照）。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体育	2	スポーツ実技 体育講義	1 1	
外国語コミュニケーション	2	英語 1 英語 2	1 1	
情報機器の操作	2	情報機器演習 1 情報機器演習 2	1 1	

科目区分	各科目に含めることが必要な事項		二種 免許状 単位数	左に対応して開設されて いる授業科目	単位数		
					必修	選択	
第二欄	領域及び保育内容の 指導法に関する科目	領域に関 する専門 的事項	健康	12	幼児と健康	1	
			人間関係		幼児と人間関係	1	
			環境		幼児と環境	1	
			言葉		幼児と言葉	1	
			表現		幼児と表現 1（音楽） 幼児と表現 2（造形）	1 1	
		領域及び保育内容の指導法に関す る科目における複数の事項を合わ せた内容に係る科目			—	—	—
		保育内容の指導法(情報機器及び 教材の活用を含む。)			保育内容総論 1 保育内容総論 2 保育内容 健康 保育内容 人間関係 保育内容 環境 保育内容 言葉 保育内容 表現	2 1 1 1 1 1	2

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	二種 免許状 単位数	左に対応して開設されて いる授業科目	単位数	
				必修	選択
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	6	教育原理	2	
			保育者論	2	
			教育社会学	2	
			保育心理学	2	
			特別支援教育の理解	2	
			教育課程論	2	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	4	教育情報学 教育方法学	2	2
			幼児理解の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	
第五欄	教育実践に関する科目	5	教育実習（幼稚園）	5	
		2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	
第六欄	大学が独自に設定する科目	2	最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得		
計		31			

保育士資格を得るための単位修得方法

下記の履修方法・履修単位数は児童福祉法施行規則で定められたものによるが、本学では、高い保育力を修得するため必修単位数を多く設定している（履修指針表参照）。したがって、本学所定の必修科目を履修の上、卒業要件の単位修得の基準を満たしていなければならない。

（教養科目・厚生労働省告示による教科目）8単位以上（うち体育に関する講義及び実技 それぞれ1単位）

系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数	時間数
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	情報機器演習 1	演習	1	30
				情報機器演習 2	演習	1	30
				日本国憲法	講義	2	30
				キャリア基礎	講義	2	30
				国語表現	演習	1	30
	外国語	演習		英語 1	演習	1	30
				英語 2	演習	1	30
	体育	講義	1	体育講義	講義	1	30
		実技	1	スポーツ実技	実技	1	30

（必修科目・厚生労働省告示別表第 1 による教科目）51単位以上

系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数	時間数
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	30
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2	30
	子ども家庭福祉	講義	2	こども家庭福祉	講義	2	30
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2	30
	子ども家庭支援論	講義	2	こども家庭支援論	講義	2	30
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2	30
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2	30
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育心理学	講義	2	30
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	こども家庭支援の心理学	講義	2	30
	子どもの理解と援助	演習	1	こどもの理解と援助	演習	1	30
	子どもの保健	講義	2	こどもの保健	講義	2	30
	子どもの食と栄養	演習	2	こどもの食と栄養 1	演習	1	30
				こどもの食と栄養 2	演習	1	30
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程論	講義	2	30
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論Ⅰ	演習	2	30
	保育内容演習	演習	5	保育内容 健康	演習	1	30
				保育内容 人間関係	演習	1	30
				保育内容 環境	演習	1	30
				保育内容 言葉	演習	1	30
				保育内容 表現	演習	1	30

系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数	時間数
保育の内容・方法に関する科目	保育内容の理解と方法	演習	4	幼児と健康	演習	1	30
				幼児と人間関係	演習	1	30
				幼児と環境	演習	1	30
				幼児と言葉	演習	1	30
				幼児と表現 1（音楽）	演習	1	30
				幼児と表現 2（造形）	演習	1	30
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育 1	講義	2	30
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育 2	演習	1	30
	子どもの健康と安全	演習	1	こどもの健康と安全	演習	1	30
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2	30
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習 1（保育所）	実習	2	80
				保育実習 1（施設）	実習	2	80
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導 1（保育所）	演習	1	30
				保育実習指導 1（施設）	演習	1	30
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2	30

（選択必修科目・厚生労働省告示別表第2による教科目）9単位以上（うち保育実習3単位以上）

系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数	時間数
保育の本質・目的に関する科目				地域福祉	演習	1	30
保育の対象の理解に関する科目							
保育の内容・方法に関する科目				保育内容総論 2	演習	2	30
				音楽 1	演習	1	30
				音楽 2	演習	1	30
				音楽 3	演習	1	30
				ピアノ奏法	演習	1	30
				アンサンブル（合奏・合唱）	演習	1	30
				図画工作 1	演習	1	30
				図画工作 2	演習	1	30
				こどもと造形	演習	1	30
				視聴覚教育	演習	1	30
				こどもと運動	演習	1	30
				在宅保育	講義	2	30
保育実習	保育実習Ⅱ 又は 保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習 2	実習	2	80
				保育実習 3	実習	2	80
	保育実習指導Ⅱ 又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導 2	演習	1	30
				保育実習指導 3	演習	1	30